

むつ青年会議所発行

青会新報

隔月刊

5月30日(金)
2014年(平成26年)

発行元
一般社団法人むつ青年会議所
〒035-0031 青森県むつ市柳町1-10-25
まさかりプラザ内
発行責任者 総務情報委員長 佐藤 恭太

理事長挨拶

第55代理事長
齋藤 晃史

皆さん、こんにちは。理事長をやらせていただいから、月日があっという間に過ぎ去り、気付けばもう5月。毎日、仕事・家庭・JCを何とかバランスを取ながらこなしています。3月4月を振り返ると、



ASPAC山形大会のPRのため、精一杯の笑顔

まずは福島県のいわき市で行われた「復興創造フォーラム」。震災から3年を迎えてなお、仮設住宅に住まなければならぬ現状に、まだまだ復興は終わってはいないとの思いを新たにしました。道中一緒だった坂本局長からインフルエンザをうつされたのもこの時でした。定例会では馬場先輩をお呼びして「みこし祭り」を開催した当時のことをお話しして頂きました。現在、竹

引き継がれる みこしへの想い

まちづくり委員長
竹本 慎太郎

三月二十日の定例会はOBの馬場重利先輩に「お越し頂き、「みこしへの想い」と題して講師の想いを行いました。今年度のみこし祭りは第三十回目という節目の年になります。メンバーの半数近くが入会後まだ3年以下ということもあり、自分も含め発足当時のお話を聞いてみこしの趣旨等を再認識する場として企画致しました。当日に至るまで、諸先輩方からアドバイスを頂き、昔の写真も発掘しに行き、打ち合わせも何度もさせて頂き、私自身本当に勉強になりました。馬場先輩からはみこしへの想いだけでなく、JCへの想いも伝わる大



貴重な写真を見せて、当時の状況や経緯、想いをお話いただきました

若手ビジネスマン異業種交流会

セミナーも同時開催、今年も盛況!

拡大交流委員会 井本 貴之

4月19日に開催いたしました、若手ビジネスマン異業種交流会は、会員の皆様のご協力の下、好評のうちに終えることができました。

また、入会希望者二名を獲得することもでき、ありがとうございました。思っております。異業種交流会は、齋藤理事長が2010年に始められてから早くも四回目を数えます。

私も、過去三回すべてに参加し、青年会議所に入会するきっかけとなった交流会を担当させていただくにあたって、どのようにして、自分のカラーを出していくか非常に悩みました。

出した結論としては、外部から講師をお招きして

のセミナーの開催と、参加人数を絞って、密な交流会にすることでした。2010年に初めて参加した異業種交流会は、人数も多くはありませんでしたが、その分密な交流ができて、思い出深いものがありました。そこで、参加人数を第3回の半数程度の80人に絞り、一営業所から2名までと制限も設けました。また、参加者全員に自己紹介をしてもらえ、時間を取り、これまでの活動を紹介するスライドを作成し、上映いたしました。セミナーも、どの業種にでも参考にしてもらえるテーマとして、人間関係を取り上げ、元RABアナウンサーの後藤清安様

をメイン講師にお迎えし、「幸せになる技術」を同時開催致しました。参加者からは「よい、気づきをもたらした」等の感想も頂きました。途中、条件を厳しくしてしまったことが仇となり、参加人数が伸びずに皆様にご心配をおかけいたしました。しかし、司会をしながら拝見している限りでは、席に着くことがない程に、非常に活発な交流が図られていたように思いました。運営に関して役割分担の甘さなど、反省すべき点もいくつか見つけることができましたので、今後の活動に活かしていきたいと思っております。これからの運営にも、ご指導、ご協力の程よろしくお願いたします。



第四回 若手ビジネスマン異業種交流会



会員も参加者も名刺を手に活発に交流を深めていました

例会開催 デイバート 議論 期待の上を行く 活発な議論

ひとづくり委員長 大久保 泰康

5月ひとづくり委員会 担当例会でデイバートを実施しました。普段あまり発言機会が少ない理事者以外のメンバーにも積極的に考え、発言する機会があればと考え企画しました。

定例会にはたくさんメンバー、オプザーパーに出席して頂き、大変嬉しく思いました。参加人数も多く、さらには4月の異業種交流会に参加していた方から3名、オプザーパー出席していただき、感謝致します。当日のシミュレーションも委員会メンバーでやってみて修正しながら詰めてきました。はじめはみんな積極的に参加してもらえましたが、不安がありました。しかし、いざデイバートを実施すると、なかなか普段発表する機会がないメンバーからも積極的な発言が目立って来たと感じます。たばこ増税に関する議論の中で出た成田さんの「地球はもうパンパンですよ！」は今大流行しています。デイバートたちの様々な意見が飛び交い非常に活気のあるデイバートが行われたと思います。参加メンバーからはもう少し時間が欲しかったなどの意見があり、少し言い足りない部分もあったかと思えますが、メンバー達の活きあふれる姿を見て、デイバートをやってよかったと思えました。また、懇親会もたくさんメンバーが出席し

極的な発言が目立って来たと感じます。たばこ増税に関する議論の中で出た成田さんの「地球はもうパンパンですよ！」は今大流行しています。デイバートたちの様々な意見が飛び交い非常に活気のあるデイバートが行われたと思います。参加メンバーからはもう少し時間が欲しかったなどの意見があり、少し言い足りない部分もあったかと思えますが、メンバー達の活きあふれる姿を見て、デイバートをやってよかったと思えました。また、懇親会もたくさんメンバーが出席し



てくれた事が非常に嬉しかったです。ひとづくり委員会として委員共々協力して、さらに魅力的な例会に行ければと思います。



むつ版アカデミー大学 ついに始動 J.C.研究局幹事 相内 友博

皆様はじめまして、昨年度J.C.に入会して、今年度にも分からは、まま坂本大先生の元、J.C.研究局幹事をやることになり三ヶ月ほどたった今、今度はむつ版アカデミー大学の塾長を任せられる事になった、相内友博(38才)です。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、現在私は青森ブロックアカデミー大学塾生でもあります。なぜむつ版アカデミー大学塾長をやることになったのかよくわかりませんが、坂本局長の右腕となり頑張る所存でございます。

という訳で、むつ版アカデミー大学とは何かといいますが、基本的には入会三年未満の会員を中心に勉強する集まりです。何事も修練

J.C.研究局として今まで行ってきた内容ですが、社会人としての基本ビジネスマンのマナー講座やJ.C.入門学です。名刺交換の仕方、服装、お酒の注ぎ方、会人として基本の知識を勉強しましたし、J.C.に入会したもののよ

これも全て斎藤理事長の力になればという気持ちの表れだと、勝手に思っています。来るべき日に備え、私、相内は邁進していく所存であります。本場で、これからの皆様、至らぬ点等あれば気兼ねなく色々言って頂ければと思います。それでは、宜しくお願い致します。

さて、現在私は青森ブロックアカデミー大学塾生でもあります。なぜむつ版アカデミー大学塾長をやることになったのかよくわかりませんが、坂本局長の右腕となり頑張る所存でございます。

という訳で、むつ版アカデミー大学とは何かといいますが、基本的には入会三年未満の会員を中心に勉強する集まりです。何事も修練



青森ブロックアカデミー大学 むつで護衛艦見学 第四講座開催



5月17日(土)18日(日)3年ぶりにむつの地において青森ブロックアカデミー大学の講座が開催されました。多くの塾生にとっては距離がネックになるため、参加人数はやや少なめではありましたが、駆けつけた塾生はより多くの意気あふれる青年達。全ての行程において多くの事を積極的に学んでいました。

理事長講話では我が青森理事長の出番です。ワークショップを取り入れた大胆なプログラムは参加者一同熱心に取り組んでいました。

むつの特色を活かした講座とし護衛艦見学が行われました。普段むつ市民であった方もあまり見る機会が無い護衛艦内部を拝見して、それぞれの楽しみ方、学び方で国防を担う船を満喫しました。また、基地としての大湊の歴史は深く、資料が多く展示されていました。



5月17日(土)18日(日)3年ぶりにむつの地において青森ブロックアカデミー大学の講座が開催されました。多くの塾生にとっては距離がネックになるため、参加人数はやや少なめではありましたが、駆けつけた塾生はより多くの意気あふれる青年達。全ての行程において多くの事を積極的に学んでいました。

理事長講話では我が青森理事長の出番です。ワークショップを取り入れた大胆なプログラムは参加者一同熱心に取り組んでいました。

むつの特色を活かした講座とし護衛艦見学が行われました。普段むつ市民であった方もあまり見る機会が無い護衛艦内部を拝見して、それぞれの楽しみ方、学び方で国防を担う船を満喫しました。また、基地としての大湊の歴史は深く、資料が多く展示されていました。

実物の銃器、服飾品などは戦後から年月が経った今でも未だ火薬の匂いが漂ってくるように、話題にあがる国防関連、憲法関連のニュースをより真剣に考える良い機会になったのではないのでしょうか。

アカデミー大学はもちろん夜も元気に開催！むつからは6名の塾生に加えて多くの会員が駆けつけて、むつの夜を楽しく盛り上げてくれました。ブロック大会で実施するアトラクションの練習を二日目に、無事講座は終了となりました。今後の講座も塾生一同、意気あふれる猛烈な参加で臨みます！



回、救急救命講習、安全折願祭、参加者説明会と対外的な事業を進め、そしていよいよ「まさかりロード」本番となりま

初めてこの事業への挑戦ではありませんが各部会、皆様から皆様の協力もあり、ここまでくる事ができました。本番では怪我や問題行動がないよう細心の注意を払い進めていきたいと思っております。

与えられた他人の努力による感動ではなく、主体的に自分で努力した感動を参加者、メンバーとともに味わえる事業になると確信しています。最後までご協力お願いいたします。

55周年記念事業『まさかりロード』開催までわずか！

「ロード」ですが、ようやく4月29日に事前説明会を開催し対外的な活動も始まりました！

参加者募集は5月7日から。これからポランティア研修会3

対内的には昨年の9月からむつ小川原地域産業振興財団への補助金申請のため動き始めた55周年記念事業「まさかり